

## 結果速報

2009年6月10日(水)

インテリア ライフスタイル

東京ビッグサイト(東京国際展示場)西ホール

2009年6月3日(水) - 5日(金)

インテリア ライフスタイル、26,220人の業界関係者が来場し、盛況のうちに閉幕！

次回は、2010年6月2日(水)～4日(金)、東京ビッグサイト 西ホールにて開催

2009年6月3日(水)から5日(金)まで開催されたライフスタイル提案型国際見本市『インテリア ライフスタイル』が、盛況のうちに閉幕した。26,220人(登録実数)の来場者、および30カ国・地域から630社(国内:438社、海外:192社)の出展者を記録。出展者数、来場者数共に過去最多となった前回には及ばなかったものの、最新の製品やトレンド情報を求めて足を運んだ来場者の多くが精力的に出展者ブースを回り、会場内は不況を感じさせない活気に溢れていた。

来場者数	6月3日(水) [曇り]	9,024人
	6月4日(木) [曇り]	8,956人
	6月5日(金) [雨]	8,240人
	合計	26,220人

### 出展者からのポジティブな意見

多数の業界関係者が集結するインテリア ライフスタイルでは、新製品や市場に出る前のプロトタイプも多数出展されており、最新のトレンドや市場にまだ流通していない新製品がいち早くチェックできる。また、多くの人に愛用されるロングセラーの商材がラインナップを揃えて見られるのもインテリア ライフスタイルならではの。今年も新製品の発表、インテリア ライフスタイルでしか見られない興味深いコラボレーションによる展示などが多く見られた。多数の業界関係者が集結した会場内では、盛んに商談や情報交換が行われ、多くの出展者から満足の声が届いた。

今回インテリア ライフスタイルに初出展を果たした(株)マイヤー・ジャパンのキーアカウント・セールスマネージャー、高木健太氏は出展の手ごたえについて次のようにコメントした。「弊社として出展するのは初めてだが、前職でこちらの見本市に何度か来場する機会があり、今回の出展を決意した。弊社は1月から社名やトップが変わり、それに合わせて、様々なユーザーを想定して価格帯やデザインなど製品レンジを広げている。カーリングをイメージした丸みあるフォームで色合いがポップな若い女性受けするケトルや、一人暮らしでも家族向けでもぴったりの深さがある小ぶりの鍋、そして料理好きの男性好みのプロ仕様の重厚感あるステンレス製フライパンなど。小売や百貨店の方はもちろん、設計関係の方、インテリアコーディネーター、デザイナーなど幅広い方に見ていただけているのはインテリア ライフスタイルならではの。来場者の流れも良く、多くの方にご覧いただけている。周りを見ても出展製品のクオリティーからブースのプレゼ

ンテーションまでレベルの高い出展者の方が多く、来場者もみなさん楽しんでいるようだ。クオリティーの高い見本市に参加できて良かったと満足している。」

今開催の注目エリアである「Style Japan(スタイル・ジャパン)」に出展をした(株)ツヴィーゼル・ジャパン代表取締役社長のプレイタヴィノ・ロベルト氏は、「これまで 1F のホールで出展していて、今回初めて上階で出展した。注目度の高いエリアで出展できたのもあり、来場者は多く、既存の方だけでなく弊社ブランドをよくご存知でない方にも興味を持って見ていただいた。過去に出展した中でも手ごたえが一番良かった。今年はお出展者パーティーが例年と違いホール内で開催されるなど大幅なチェンジはあったが、大正解だったと思う。私もパーティーに出席させていただいたが、お洒落な雰囲気非常に楽しめた。来場されている方からも、海外の見本市みたいな雰囲気で楽しいという声が聞かれた。インテリア ライフスタイルはショップや百貨店などの小売業の方やデザイン関係の方が多いため、ワイングラスやビールグラスなどのグラス類だけでなく花器などのインテリア商材も展示し、より幅広いラインナップでテーブルコーディネートとして見せるようにしている。弊社のブランディング戦略の上でインテリア ライフスタイルへの出展は非常に重要だ。これからも今開催のような形で開催してもらいたい。」

今回通常のブース出展の他にトレンド・カフェ「Style Japan Restaurant(スタイル・ジャパン レストラン)」にて協賛展示した出展者の 1 つ、(株)シックスインチ・ジャパンの代表取締役社長である見上眞司氏は協賛の効果を次のように語った。「協賛させていただいて非常に良かった。カフェで弊社の椅子に座られた方が興味を持っていただいて弊社ブースに来てくださるという良い相乗効果が出ていた。これも、たくさんの椅子をカフェで置かせていただけたからと感謝している。具体的な商談に進められそうな話もたくさんいただいております、会期後の成果が楽しみ。」同氏は続けて、出展の成果と今後の展望についても、「シックスインチはもともとベルギーのブランドで、これまで同国でデザイン・製造されたアイテムを日本に紹介してきたのだが、今後は日本のデザイナーと組んで日本で製造するという日本発のコラボを進めていきたい。そして、ベルギーをはじめとするヨーロッパ市場に日本でデザイン・製造したアイテムを逆に紹介していきたい。もともと出展する際に設計の方に会えればいいと思っていたが、実際に多数の設計関連の方がブースに来場し、興味を持って製品を見ていただいた。デザイナーさんや設計関連の方がたくさん来場されるインテリア ライフスタイルではコラボの話もいただいております、今後は本当に楽しみ」と語った。

アトリウムの Design Perspective(デザイン・パースペクティブ)エリアで出展し、「日経デザイン賞」に選ばれたアッシュコンセプトの代表取締役、名見耶秀美氏は、「来場された方が一番初めに見るエリアで展示させてもらったから、色んな方に見ていただいた。会期 3 日間は忙しかったけど、色んな人と会えるからすごく楽しかった。グリーンピンなどの新しいアイテムも色々出展した。この 400 each グラス & ボウルは、日経デザイン賞を受賞したアイテム。この 6 つのグラスとボウルは全部、形は違っても容量が 400cc。ここにこめた気持ちは、世界には大きいのも小さいのも、ずんぐりしたのも細いのも、色んな人がいるけれど、それでいいのだということ。賞の審査をされた日経デザインの下川編集長は家族について思いをめぐらせるようなプロダクトを探していらしたということで、「みんな同じだけど、みんな違う」というこのコンセプトを評価してもらえたようだ」と出展の手ごたえと受賞について語った。

## INTERIOR LIFESTYLE AWARDS を 5 社／組が受賞

2006年からの企画『INTERIOR LIFESTYLE AWARDS』。会期初日の出展者パーティーで、全出展者の中から選定された5社／組の出展者が表彰され、選定者より各受賞者にトロフィーが贈呈された。授与されたのは、以下の5つの賞。

### **JID Design Award**

(選定: 日本インテリアデザイナー協会 理事長 酒井正人氏)

受賞者: YOnoBI / クロスエッジ

受賞理由: 紙というエコ素材を重ね合わせたダイナミックかつ繊細なファサードデザインは、圧倒的なインパクトがあり、中に展示されているプロダクトの上質な物づくりの姿勢をひきたてる空間を提案している。

### **JDCA Design Management Award**

(選定: 日本デザインコンサルタント協会 代表幹事 宮城壮太郎氏)

受賞者: (株)Nasnos Japan

受賞理由: 製品やブースだけではなく、生活、技術、マーケティングなどプロダクトマネジメント、デザインマネジメントが優れている企業として、新しい企業ですが期待を込めて選出した。

### **NIKKEI DESIGN Award**

(日経BP社 日経デザイン編集長 下川一哉氏)

受賞者: アッシュコンセプト

受賞理由: 家族のためのデザインが求められている時代。みんな同じだけど、みんな違う。そんな家族のあり方をシンプルに伝えるデザインにこれからのデザインの方向性を感じる。

### **All About Style Store Award**

((株)オールアバウト ショッピング事業部 MD グループ マネジャー 柳沼周子氏)

受賞者: (株)二上

受賞理由: つくり手の技術に裏打ちされた素朴で美しい仕上がり。道具としての使いやすさ、佇まいの良さが秀逸。鋳物の魅力を知らない人たちが、手に取りやすいアイテムであることも評価させていただいた。

### **Interior Lifestyle Young Designer Award**

(インテリア ライフスタイル プロデューサー 高田公平氏)

受賞者: ホラグチカヨ

受賞理由: ライフスタイルクリエイターとしての可能性を感じる。

オールアバウト・スタイルストア賞を受賞した(株)二上の製品デザインを手掛けた大治将典氏は、「受賞はすごいことだと思っている。特に選定いただいたのがオールアバウト・スタイルストアのバイヤーをされている方だということで、バイヤーから見て「売れる！」とっていただけたということが本当に嬉しい。実力者揃いのインテリア ライフスタイルで、630社の出展者の中からたった5組にしか授与されない賞に選んでいただけたのはすごいこと！自信になった。ありがとうございました」、と受賞の喜びを語った。また、その上で、出展製品への思いと出展の成果について、「この製品制作の経緯は、もともと私自身が真鍮素材

で栓抜きを作ってみたいと思っており、真鍮の工房のワークショップに参加した。その時に指導していただいたのが真鍮で仏具を作っていた明治30年創業老舗メーカーである二上さん。それから一緒にもっと色々制作してみようということになり、栓抜きや鍋敷きといった生活用品を一緒につくった。真鍮という素材の持つあたたかみを伝えられるよう、太陽・月・星などのモチーフを選択して、曲線を使ったデザインを心掛けた。今回のインテリア ライフスタイルでお披露目したところ、反響は思った以上。小さなセレクトショップから大手百貨店や専門店まで様々なショップ・デパートの方にご来場いただき、お話をいただいている。栓抜きなどの出展した製品の一部は7月から販売を開始することが決まった。鍋敷きについても季節を考慮し、秋頃に販売されることになった」と続けた。

2009年2月ドイツ・フランクフルトにて開催される世界最大の消費財見本市「アンビエンテ」内デザイナー・エリア「talents(タレンツ)」への招待特典付きのインテリア ライフスタイル・ヤングデザイナー賞を手にしたのはホラグチカヨ氏。「本当にたくさんの方とお会いし、勉強になった。本当にありがとうございました。以前、別の日本の見本市に出展した際に、「出展製品のクオリティーが高いインテリア ライフスタイルの方が合うのではないかと」何人もの方から指摘いただき、今回こちらで初めて出展させていただいた。出展して感じたのは、インテリア ライフスタイルに来場されている方は決定権を持っている方が多く、話が早いということ。来場される方は比較的若い方が多いが、デザインについてよくご存知の方が多く、お話して良い刺激になる。商品企画など企画系職種の方も多く、コラボのお話もいただけて大変満足している。また、情報に敏感で、あたたかい人が多いと思う。今回栄えある賞をいただいて、それだけでもすごく嬉しいが、会場で知り合ったばかりの方から「おめでとうございます」というメールを何通もいただいて感激した。それから、アンビエンテに出展できるのは非常に楽しみ。アンビエンテ会期まで準備時間があるので、せっかくだいた機会を生かせるようにしたい。更に作りこんで、いい物を見ていただけるように頑張りたい」と同氏は受賞の喜びとアンビエンテ出展への意気込みを語った。

今回のインテリア ライフスタイルは、2010年6月2日(水)～4日(金)、東京ビッグサイト 西ホールにて開催される。また、昨年から開催されている姉妹見本市『IFFT/インテリア ライフスタイル リビング』が、2009年12月2日(水)～4日(金)の3日間、東京ビッグサイト 東ホールにて開催される。

— 終わり —

全 5,022 文字(スペース含む)

#### 問い合わせ

メサゴ・メッセフランクフルト株式会社

プレス・PR 担当 新居延訓子

Tel: 03 3262 8456 / Fax: 03 3262 8442

[niinobu@mesago-messefrankfurt.com](mailto:niinobu@mesago-messefrankfurt.com)